

平成27年度合同 I R 資料

かがやく浜松市の未来へ

～持続可能な行財政運営を目指して～

みんなで創る、元気な未来。



©浜松市

目 次

1 浜松市のプロフィール

- ・ 浜松市の概要 2
- ・ ものづくりのまち・浜松 3

2 決算から見る浜松市の財政状況

- ・ 普通会計決算の状況①26年度決算歳入の概要 . 5
- ・ 普通会計決算の状況②26年度決算歳出の概要 . 6
- ・ 普通会計決算の状況③税収の確保 7
- ・ 普通会計決算の状況④財政の健全性 8
- ・ 普通会計決算の状況⑤財政力指数 9
- ・ 普通会計決算の状況⑥経常収支比率 10
- ・ 普通会計決算の状況⑦実質公債費比率 11
- ・ 普通会計決算の状況⑧将来負担比率 12
- ・ 普通会計決算の状況⑨バランスシート 13
- ・ 公営企業会計決算の状況 14
- ・ 外郭団体の経営健全化 15
- ・ 市債残高の状況 16

3 浜松市の未来に向けて

- ・ 都市経営方針 18
- ・ 浜松市の将来推計人口 19
- ・ 中期財政計画 20
- ・ 平成27年度当初予算～予算推移～ 21

- ・ 平成27年度当初予算＜一般会計＞ 22
- ・ 歳入総額に占める市税収入の推移 23
- ・ 義務的経費と投資的経費の構成比の推移 . . . 24
- ・ 減少する市債残高 25
- ・ 平成27年度の主要事業
～理想の未来に向けた挑戦～ 26
- ・ 脱人口減少・少子化社会への挑戦 27
- ・ 選ばれる浜松への挑戦 28
- ・ 持続可能な社会への挑戦 29

4 市債発行方針

- ・ 市債管理方針 33
- ・ 浜松市の格付け 34
- ・ 市場公募債発行概要 35

※表示単位未満を四捨五入していますので、内訳と合計や、伸び率等の計算が一致しないことがあります



©浜松市

出世大名 家康くん

みんなで創る、元気な未来。

浜松市

1 浜松市のプロフィール

- ① 浜松市の概要
- ② ものづくりのまち・浜松



浜松市の概要

山と海、人口や産業の集積地と過疎地をあわせもつ【国土縮図型都市】

◆人口 808,959人(前年同月比1,888人の減)
(平成27年4月1日現在、住民登録による)

◆面積 1,558.06km²
(岐阜県高山市に次いで全国2位)

◆自然
北は赤石山系、東は天竜川、南は遠州灘、
西は浜名湖と四方を山・川・海・湖の異なる
環境に囲まれ、都市と自然が共存したまち。

◆気候
1年を通じて温暖な気象条件に恵まれたまち。



太陽光発電導入量日本一！

全国トップクラスの年間日照時間の条件を活かし、固定価格買取制度に基づく太陽光発電設備導入量 180,225kW
資料：経済産業省H27. 3末

◆交通
東京と大阪のほぼ中間に位置し、東海道新幹線や
東名高速道路など、古くから交通の要衝として栄えてきたまち。



ものづくりのまち・浜松

世界的企業・オンリーワン企業が生まれ育つ都市
新たな事業に果敢に挑戦する企業が集積する都市



日本初の国産ピアノ

◆オートバイ
3大メーカー創業の地
YAMAHA
SUZUKI
HONDA



日本初の国産オートバイ

◆楽器の国内3大メーカー
全ての本社が立地
YAMAHA
KAWAI
Roland



光電子増倍管

◆多様な農産物で
日本トップレベルの生産額
ネーブルオレンジ
みかん
ガーベラ
ちんげんさい など

◆ノーベル物理学賞

天野浩名古屋大学大学院教授(2014年)
光電子増倍管(浜松ホトニクス)

《スーパーカミオカンデ使用》

小柴昌俊東京大学名誉教授(2002年)

ピーター・ヒッグス博士(2013年)、

梶田隆章東京大学宇宙線研究所所長(2015年)

ノーベル物理学賞受賞の原動力

皇室献上



温州みかん

皇室献上



白柳ネーブル



ガーベラ



チンゲンサイ

浜松からの世界初・日本初



世界初の電子式テレビ実験成功



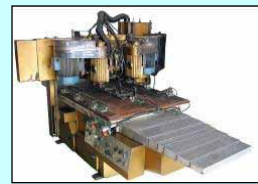
世界初の胃カメラ



日本初の軽自動車



日本初の国産旅客機



日本初の木工機械



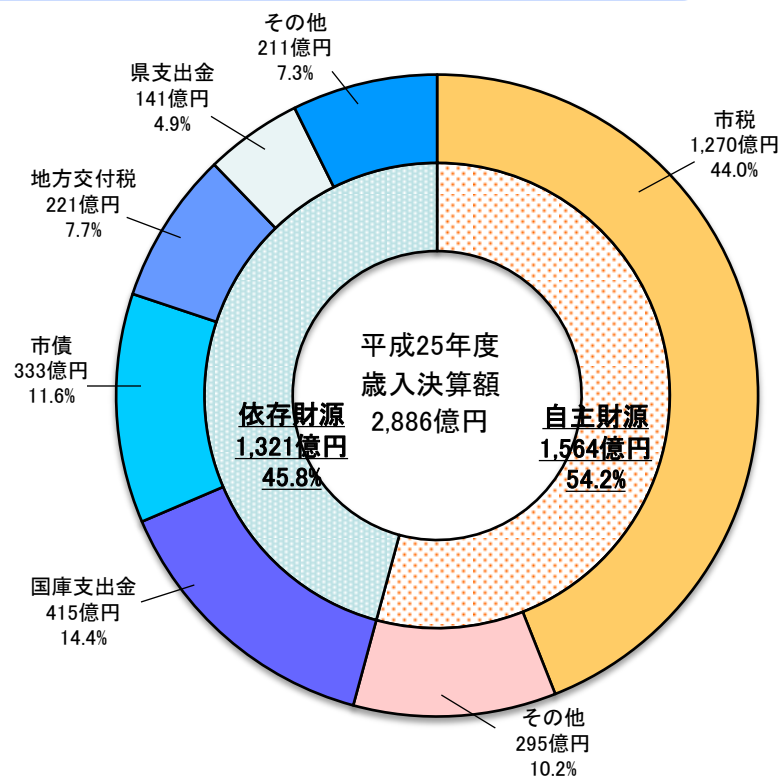
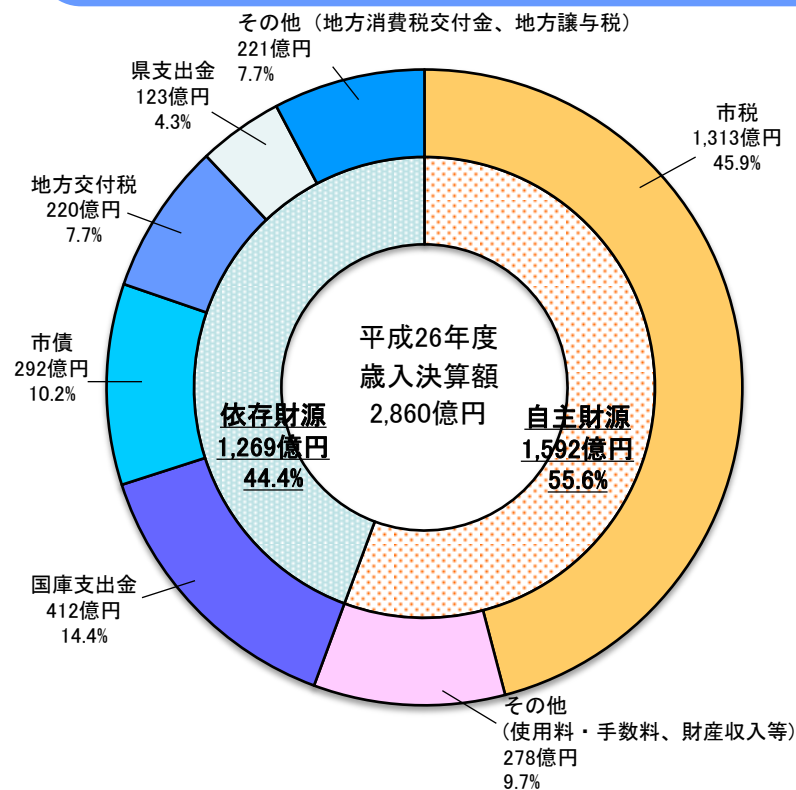
日本初の国産アルミホイール

2 決算から見る 浜松市の財政状況

- ① 普通会計決算の状況
- ② 公営企業会計決算の状況
- ③ 外郭団体の経営健全化
- ④ 市債残高の状況



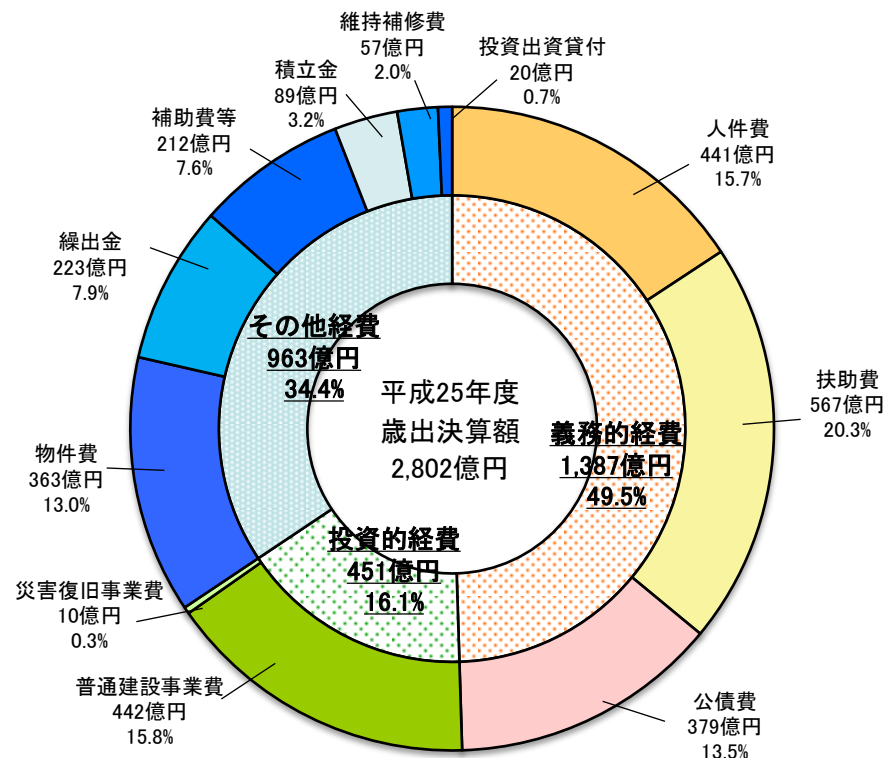
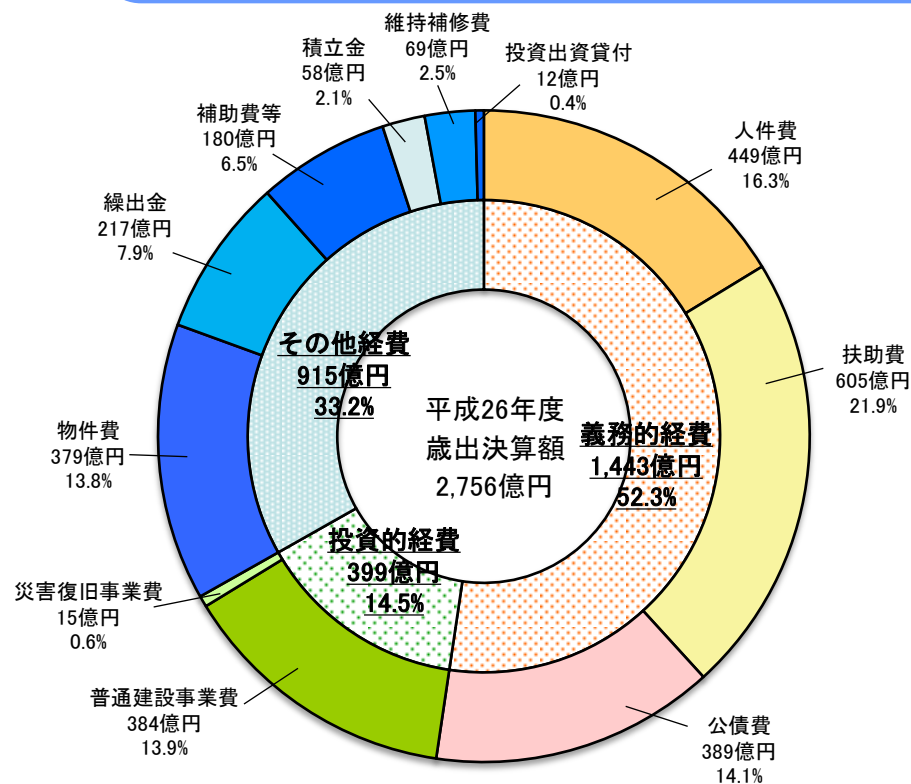
普通会計決算の状況① —26年度決算歳入の概要—



歳入 2,860億円 (H25:2,886億円)

- ・歳入の主な内訳は、市税1,313億円(構成比45.9%)、国庫支出金412億円(同14.4%)、市債292億円(同10.2%)
- ・前年度との比較では、市税が企業収益の改善などにより43億円の増、市債が第三セクター等改革推進債の皆減などにより41億円の減

普通会計決算の状況② —26年度決算歳出の概要—

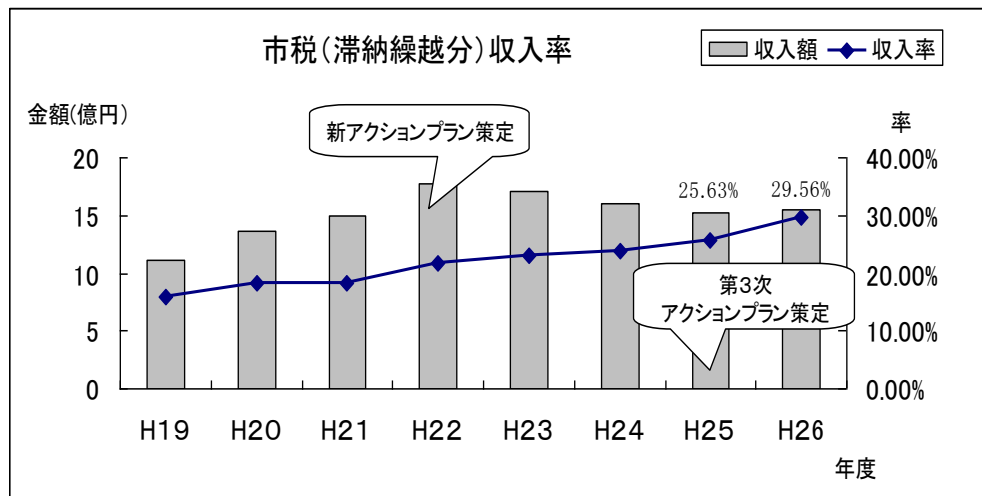
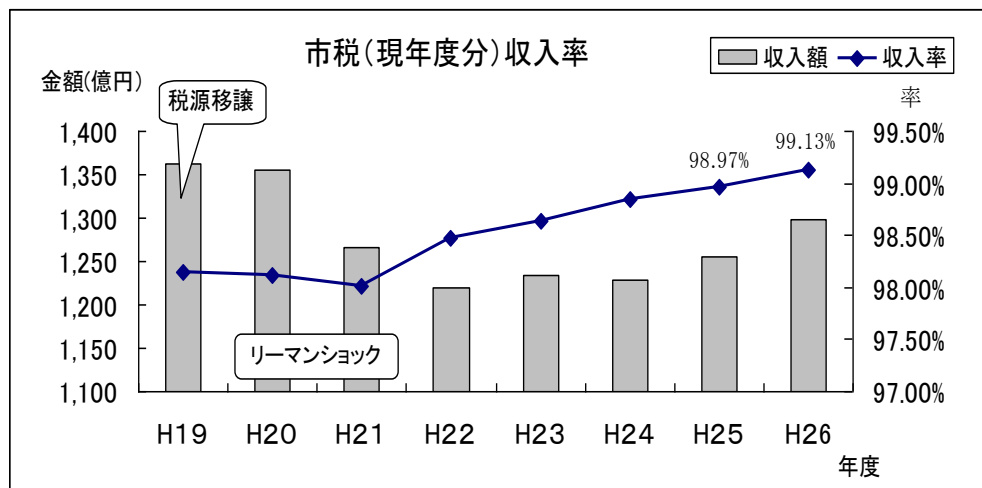


歳出 2,756億円 (H25:2,802億円)

- ・歳出の主な内訳は、人件費449億円(構成比16.3%)、扶助費605億円(同21.9%)、公債費389億円(同14.1%)、普通建設事業費384億円(同13.9%)
- ・前年度との比較では、普通建設事業費が高竜地区などの区画整理事業の減、遠州鉄道に係る連続立体交差事業及びあいホールの施設整備の終了などにより58億円の減、扶助費が臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の増などにより37億円の増

普通会計決算の状況③

— 税収の確保 —



徴収対策の強化継続により収入率は
現年分・滞納分ともに過去最高

第3次市税滞納削減アクションプラン

○納期変更による収納率の向上

（H26年度より 納期限5日→前月末日）

○現年分滞納整理の早期着手の強化

○差押を中心とした滞納整理の徹底

→現年分1期のみの滞納であっても

早期滞納整理を実施

○特別徴収事業所の指定の徹底と
適正な管理

○口座振替の促進

返信用封筒を同封し、郵送による
口座振替申込の拡大を図る

など

現行の取組を徹底し、引き続き
収入率向上、滞納額削減を図る。

普通会計決算の状況④－財政の健全性－

前年度と比較し、健全化判断比率が改善

財政健全化法による健全化判断比率

(単位：％)

区分	浜松市			平成26年度の状況		早期健全化基準
	H26 A	H25 B	増減 A-B	類似都市 平均	政令指定 都市平均	
実質赤字比率	黒字	黒字	－	－	－	11.25
連結実質赤字比率	黒字	黒字	－	－	－	16.25
実質公債費比率	10.2	10.8	△ 0.6	8.2	10.6	25.0
将来負担比率	－	8.9	△ 8.9	57.5	118.8	400.0

※浜松市H26の将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されないため「－」と表示

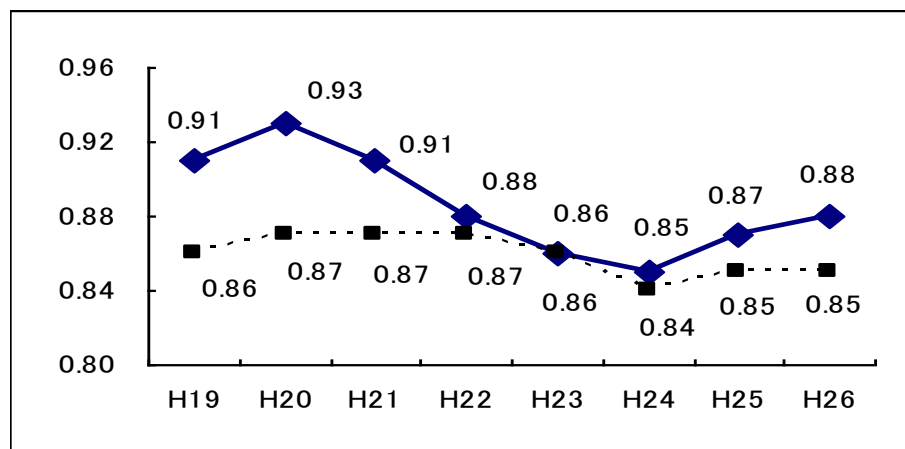
※類似都市平均、政令指定都市平均は平成27年8月現在の速報値を単純平均したもの

※類似都市とは、平成13年度以降に合併を行い政令指定都市に移行した8都市を指す

⇒さいたま市、静岡市、堺市、浜松市、新潟市、岡山市、相模原市、熊本市

普通会計決算の状況⑤－財政力指数－

財政力指数：0.88



平成26年度は平成25年度に比べ0.01ポイントの改善

- ・基準財政収入額
企業収益の改善等による市税の増などにより
前年度から20億円の増
- ・基準財政需要額
前年対比14億円の増

◆ 浜松市 ■ 政令市平均

H19～H25政令指定都市平均は地方財政白書(総務省)からの引用(加重平均値)

H26政令指定都市平均はH26決算速報値の単純平均

(単位：億円、%)

区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
基準財政需要額	1,326	1,332	1,312	1,236	1,216	1,221	1,221	1,235
基準財政収入額	1,232	1,237	1,161	1,033	1,035	1,058	1,077	1,097
財政力指数（3か年平均）	0.91	0.93	0.91	0.88	0.86	0.85	0.87	0.88

※基準財政需要額、基準財政収入額及び財政力指数は、一本算定によるもの

普通会計決算の状況⑥ー経常収支比率ー

経常収支比率: 91.7%

(単位: 億円、%)

区分	H26 A		H25 B		比較 A-B	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
経常経費充当一般財源	1,656	91.7	1,597	90.7	59	1.0
人件費	413	22.9	406	23.0	7	△ 0.1
扶助費	211	11.7	200	11.3	12	0.4
公債費	377	20.8	366	20.8	10	0.0
その他(物件費、維持補修費等)	655	36.3	626	35.6	29	0.7
経常一般財源	1,806	-	1,762	-	44	-

※経常収支比率は臨時財政対策債発行額を経常一般財源に含めて計算したもの

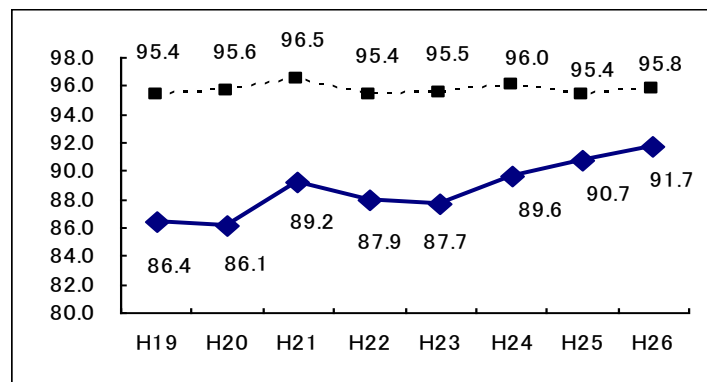
◆ 浜松市 ■ 政令市平均

H19～H25政令指定都市平均は地方財政白書(総務省)からの引用(加重平均値)

H26政令指定都市平均はH26決算速報値の単純平均

扶助費の増加などにより前年度より上昇するも
政令指定都市平均よりも良好

- ・経常一般財源は企業収益の改善等による市税の増などにより増加
- ・経常経費は道路維持修繕事業における維持補修費や私立幼稚園就園奨励助成事業における扶助費などの増加

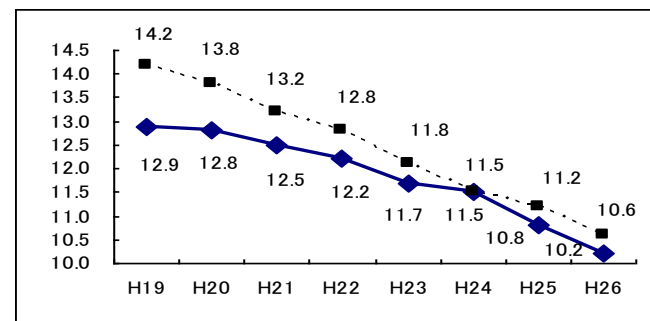


普通会計決算の状況⑦ー実質公債費比率ー

実質公債費比率:10.2%

(単位: 千円、%)

区分	H26～H24 A	H25～H23 B	増減 C(A-B)	伸び率 C/B
A 元利償還金	105,607,268	104,615,991	991,277	0.95
B 準元利償還金	35,327,097	36,736,902	△ 1,409,805	△ 3.84
C 特定財源	23,367,397	23,301,136	66,261	0.28
D 基準財政需要額算入金額	70,746,376	68,453,398	2,292,978	3.35
分子 (A + B - C - D)	46,820,592	49,598,359	△ 2,777,767	△ 5.60
E 標準財政規模	528,442,716	525,019,962	3,422,754	0.65
D 基準財政需要額算入金額	70,746,376	68,453,398	2,292,978	3.35
分母 (E - D)	457,696,340	456,566,564	1,129,776	0.25
実質公債費比率	10.2%	10.8%	△ 0.6%	



◆ 浜松市 ■ 政令市平均

H19～H25政令指定都市平均は地方財政白書(総務省)からの引用(加重平均値)

H26政令指定都市平均はH26決算速報値の単純平均

前年度比0.6ポイント向上

- ・ 土地区画整理組合に対する償還助成の減などにより、公債費に準ずる債務負担行為が減少したことによる準元利償還金の減
- ・ 元利償還金等から控除する基準財政需要額算入額の増 など

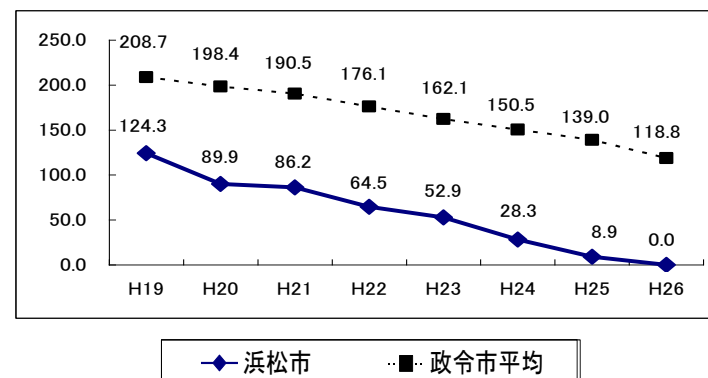
普通会計決算の状況⑧－将来負担比率－

充当可能財源等が将来負担額を上回る状況 政令指定都市で唯一将来負担比率が0

【将来負担比率算定に用いた将来負担額及び充当可能財源等】

(単位: 億円)

区 分		25年度	26年度	増減
将来負担額①	地方債現在高(一般会計等)	2,898	2,869	△ 29
	債務負担行為に基づく支出予定額	138	125	△ 13
	公営企業債等繰入見込額	942	890	△ 52
	組合等負担等見込額	1	1	△ 0
	退職手当負担見込額	435	394	△ 41
	合 計	4,413	4,278	△ 135
充当可能財源等②	充当可能基金額	567	630	63
	特定財源見込	587	571	△ 16
	地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込	3,123	3,194	71
	合 計	4,277	4,395	118
①－②		136	△ 117	△ 253



○将来負担額 4,278億円

地方債現在高の減や、公営企業の元金償還に充当する繰出金の減などにより前年度比135億円の減

○充当可能財源等 4,395億円

・充当可能基金額

商工業振興施設整備基金や減債基金などへの積み立てにより前年度比63億円の増

・充当可能特定財源

都市計画税などの減により前年度比16億円の減

・基準財政需要額算入額

臨時財政対策債や合併特例債などの増などにより前年度比71億円の増

普通会計決算の状況⑨ーバランスシートー

【普通会計】資産に対する負債・純資産の割合＝2:8(基準モデル)

平成27年3月31日現在

資産 1兆9,964億円		負債 3,299億円	
債務返済の財源等		将来の世代の負担となる債務	
1 金融資産	1,085億円	1 地方債	2,861億円
(1) 資金	111億円	2 未払金・未払費用	8億円
(2) 債権・有価証券	133億円	3 退職給付引当金	390億円
(3) 投資等	841億円	4 その他	40億円
将来の世代に引継ぐ社会資本		純資産 1兆6,665億円	
2 公共資産	1兆8,879億円	これまでの世代の負担	
(1) 事業用資産		1 財源	220億円
①建物など	2,493億円	2 資産形成充当財源	952億円
②土地	4,173億円	3 その他の純資産	1兆5,493億円
(2) インフラ資産			
①建物など	2,549億円		
②土地	9,664億円		

既往債の償還や市職員の定員適正化計画の推進により、市民一人当たりの負債額は408千円(前年比7千円の削減)

財政活動分析(普通会計ベース)の経年推移

①市民一人当たりの資産の推移

項目	24年度	25年度	26年度	25→26増減
人口 (人)	812,762	810,847	808,959	△ 1,888
資産 (億円)	20,016	19,941	19,964	23
市民一人当たりの資産 (千円)	2,463	2,459	2,468	9

②市民一人当たりの負債の推移

項目	24年度	25年度	26年度	25→26増減
人口 (人)	812,762	810,847	808,959	△ 1,888
負債 (億円)	3,371	3,368	3,299	△ 69
市民一人当たりの負債 (千円)	415	415	408	△ 7

③将来世代負担比率の推移

項目	24年度	25年度	26年度	25→26増減
公共資産＋投資等 A(億円)	19,551	19,442	19,442	0
地方債残高＋未払金 B(億円)	1,761	1,744	1,699	△ 45
将来負担比率 B/A	9.0%	9.0%	8.7%	△0.3%

※地方債残高は臨時財政対策債や減収補てん債等公共資産整備以外を目的とする地方債残高控除後

④純資産比率の推移

項目	24年度	25年度	26年度	25→26増減
資産 A(億円)	20,016	19,941	19,964	23
純資産 B(億円)	16,645	16,573	16,665	92
純資産比率 B/A	83.2%	83.1%	83.5%	0.4%

※人口は、各年度3月31日現在の住民登録による

※合併特例債を借入れ基金に積立てた38億円については、将来世代に負担が発生しないため、資産及び負債から控除している。

公営企業会計決算の状況

- 平成26年度損益は病院事業で4.2億円の純損失が発生したものの、
水道・下水道事業では純利益を計上
- 累積欠損金は、いずれの会計でも計上なし

【26年度 損益収支】

(単位:億円)

区 分	病院事業	水道事業	下水道事業
総収益	67.4	149.9	192.7
総費用	71.6	105.1	181.8
純利益 (△純損失)	△ 4.2	44.8	10.9
累積剰余金	8.2	221.4	87.4

下水道事業会計

- 料金改定
⇒24年7月に使用料の値上げ(約9%)を実施
収支比率は100%以上
24年度決算で累積欠損金を解消
- 建設改良費の抑制・企業債残高の削減
効率的な建設事業の推進などにより建設改良費を抑制するとともに、企業債残高を削減

病院事業会計

○純損失発生 の 要因

- ・リハビリテーション病院の建替に伴う一時的な赤字
23年～27年にかけて実施しているリハビリテーション病院の建替事業に伴う旧病院解体費用等による一時的な赤字
- ・佐久間病院の診療報酬返還金等による一時的な赤字
診療報酬の一部を自主返還(特別損失)
会計基準の見直しによる引当金の計上

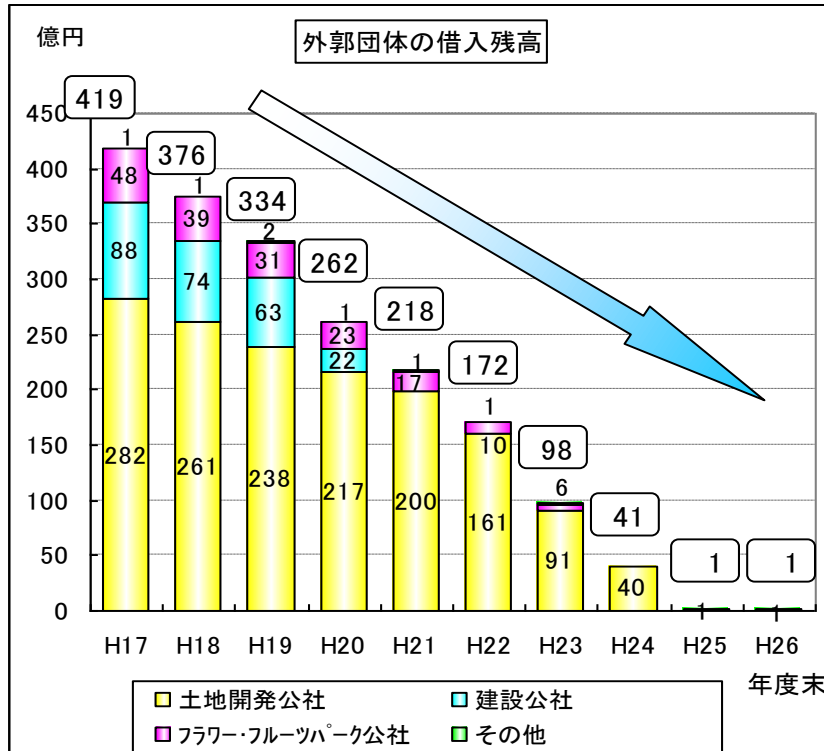
水道事業会計

- 特別利益によりに改善
修繕引当金の取り崩しや遊休資産の売却など
特別利益 35.7億円
- 会計基準の見直し
固定資産取得の財源である国庫補助金や工事負担金等の減価償却費に見合う分を長期前受金戻入として収益に計上

外郭団体の経営健全化

外郭団体の収支状況及び市からの支出金への依存度

(単位: 百万円、%)



No.	市議会	団体名	市出資比率	26年度収益的収支			26年度総収入	浜松市からの支出額	市収入依存度
				収益	費用	純利益・純損失			
1	★	(一財) 浜松市清掃公社	50.0%	801	933	△ 132	802	43	5.4%
2	★	(公財) 浜松市花みどり振興財団	100.0%	963	843	120	963	147	15.3%
3	★	(公財) 浜松市医療公社	100.0%	16,041	16,041	0	16,041	889	5.5%
4	★	(公財) 浜松市文化振興財団	93.5%	2,645	2,591	54	2,645	1,607	60.8%
5	★	(株) なゆた浜北	78.0%	248	235	13	248	96	38.7%
6		(福) 浜松市社会福祉事業団	100.0%	1,285	1,237	48	1,290	387	30.0%
7		(公財) 浜松国際交流協会	42.4%	120	115	5	120	99	82.5%
8		(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	30.1%	577	576	1	577	204	35.4%
9		(公財) 浜松市勤労福祉協会	45.5%	418	418	0	418	42	10.0%
10		(一財) 浜松まちづくり公社	25.1%	517	490	27	517	220	42.6%

※対象は連結財務諸表を作成する際の連結対象団体

※団体名称は平成26年度末時点

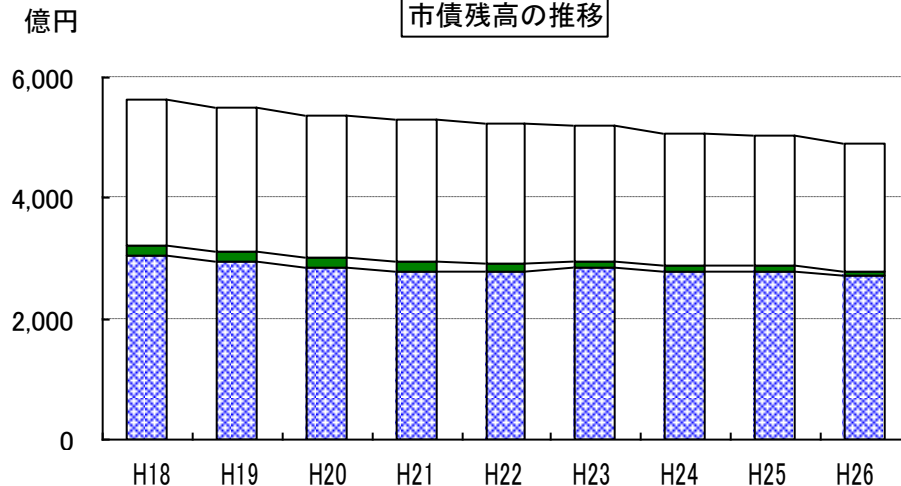
※市議会欄の★は市議会へ経営状況を報告している法人

※ 対象は市議会へ経営状況の報告を行う法人

- ・外郭団体の長期・短期借入金の縮減を進め、借入残高は17年度に比べ99%縮減
- ・H17: 419億円 → H25: 1億円 (△418億円)
- ・残り1億円についても10,000千円/年償還中
- ・平成22年度から平成25年度までは「外郭団体改革プラン」により経営健全化を推進
- ・平成26年度から平成28年度まで「外郭団体コミットメント」によるPDCA管理を実施

市債残高の状況

市債残高の推移



	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計	3,061	2,960	2,861	2,800	2,794	2,842	2,775	2,770	2,709
特別会計	168	157	158	141	132	120	111	98	91
企業会計	2,403	2,376	2,361	2,350	2,300	2,250	2,188	2,166	2,103
計	5,632	5,493	5,380	5,291	5,226	5,212	5,074	5,034	4,904
対H18増減	—	△ 139	△ 252	△ 341	△ 406	△ 420	△ 558	△ 598	△ 728
対H18比増減率	—	△2.5%	△4.5%	△6.1%	△7.2%	△7.5%	△9.9%	△10.6%	△12.9%

26年度元金ベースのプライマリーバランスは130億円の黒字

※プライマリーバランス…

市債の借入額と償還額(元金と利子)とを比較した基礎的財政収支。

本市ではより厳しい条件である元金償還と比較。

平成26年度末市債残高の状況

(単位: 億円)

会計別	25年度末残高 A	26年度		プライマリー バランス D=B-C	26年度末 残高 A-D	26 中期 財政 計画値	26 計画と 実績の 対比
		元金 償還 B	借入 C				
一般会計	2,770	353	292	61	2,709	2,745	△ 36
特別会計	98	10	4	6	91	99	△ 8
企業会計	2,166	135	72	63	2,103	2,112	△ 9
合計	5,034	499	368	130	4,904	4,957	△ 53

平成26年度末の市債残高は4,904億円となり、中期財政計画(平成23年度～平成26年度)の目標値である5,000億円未満(計画値4,957億円)を達成

新中期財政計画(平成27年～平成36年)を策定し、引き続き市債残高の縮減を主たる目標とし、中長期的な視点から規律ある財政運営を行う

3 浜松市の未来に向けて

- ① 都市経営方針
- ② 浜松市の将来推計人口
- ③ 中期財政計画
- ④ 平成27年度当初予算＜一般会計＞
- ⑤ 歳入総額に占める市税の収入の推移
- ⑥ 義務的経費と投資的経費の構成比の推移
- ⑦ 理想の未来に向けた挑戦



都市経営方針

浜松市未来ビジョン（30年後）

都市の将来像
市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』

創造都市・市民協働・ひとづくり

1ダースの未来（理想の姿）

つくる【創る】
「見たこともない」
感動をつくる。

たかめる【高める】
自然の恵み×浜松スパイス
＝付加価値 ∞。

いかす【活かす】
日当たり良好、
未来に無駄なし。

めぐらす【巡らす】
エコ(ecological)＝
エコ(economical)

つなぐ【繋ぐ】
「都会」と「田舎」。
両方あって丁度良い。

**みとめあう
【認め合う】**
似ていない。
だから、うまくいく。

**ささえあう
【支え合う】**
安心で選ばれる。
安全だから選ばれる。

はぐくむ【育む】
子どもは将来を担う地域の宝。
みんなで愛情を注ぐ。

みのに【実る】
若きに引き継ぐ、
カッコいい老い方。

はたらく【働く】
「やってみたい」を
自由にチャレンジ。

かえる【変える】
都市だって、
スリムになりたい。

むすぶ【結ぶ】
もはや遠距離は、
妨げではない。

浜松市未来ビジョン第1次推進プラン（10年後）

～都市経営の考え方～

- ①市民協働で高める地域力
- ②未来まで続く持続可能なまち
- ③未知の感動を生み出す創造都市
- ④想定外に対応できる自立・自律したまち
- ⑤世界とツナグ・地域とツナグ

～まちづくりの基本的な考え方～

コンパクトでメリハリの効いたまちづくり

分野別計画

- ①産業経済
- ②子育て・教育
- ③安全・安心・快適
- ④環境・エネルギー
- ⑤健康・福祉
- ⑥文化・生涯学習
- ⑦地方自治・都市経営

浜松市戦略計画
（毎年策定）

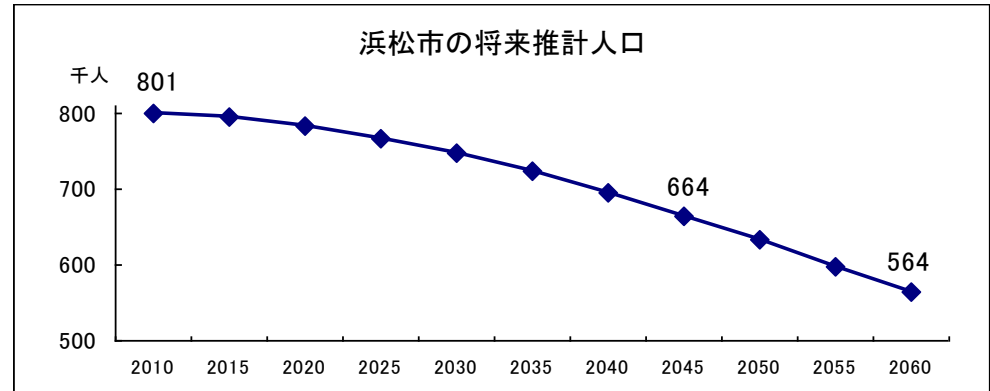
平成27年度から
新・総合計画に
基づく市政運営
スタート！

浜松市の将来推計人口

浜松市将来推計人口（平成25年3月推計）～浜松市独自推計～

2045年（平成57年）に人口664千人

2010年（平成22年）比較で△136千人



・本市人口

区分	平成22年A	平成57年B	増減C（B-A）	増減率D（C/A）
人口	800,866人	664,406人	△136,460人	△17.0%

・構成別では

区分	平成22年A	平成57年B	増減C（B-A）	増減率D（C/A）
年少人口 （0～14歳）	113,261人 （14%）	72,506人 （11%）	△40,755人 （△36%ポイント）	△36.0%
生産年齢人口 （15～64歳）	504,409人 （63%）	339,620人 （51%）	△164,789人 （△32%ポイント）	△32.7%
老年人口 （65歳以上）	183,196人 （23%）	252,280人 （38%）	69,084人 （15%ポイント）	37.7%

中期財政計画

計画期間

平成27年度～36年度（10年間）
※浜松市総合計画基本計画の期間と同一

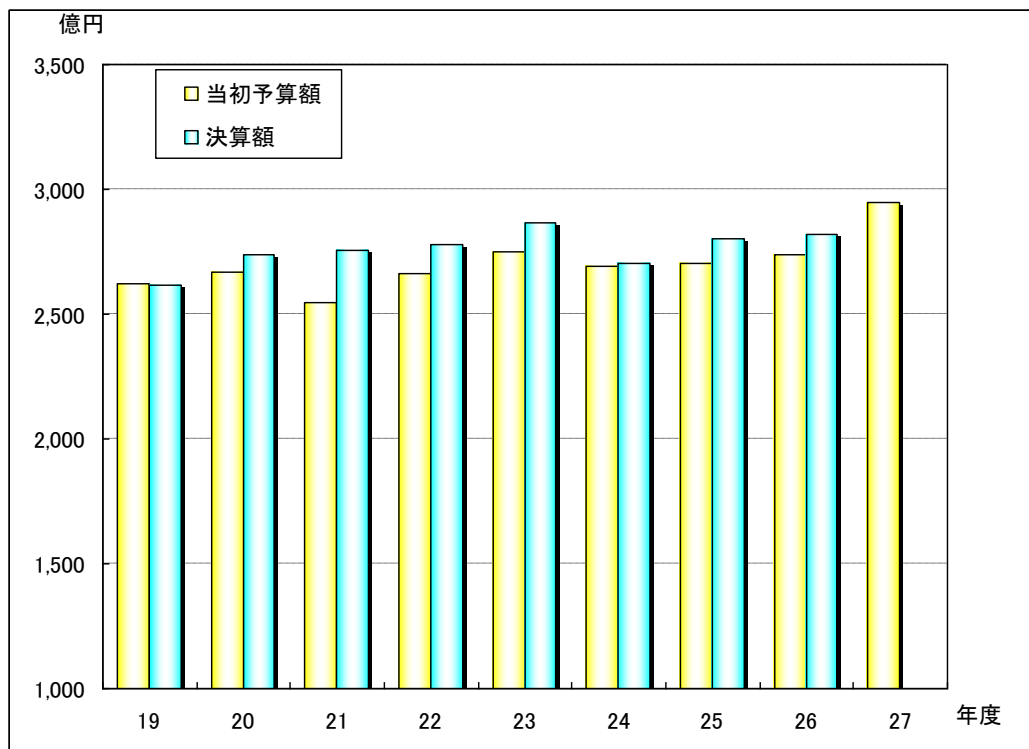
目標値

- ①一人あたり市債残高
平成36年度末までに550千円／人以下とする
- ②補足目標
 - ア 実質公債費比率（フロー指標）
類似政令指定都市平均を下回る
 - イ 将来負担比率（ストック指標）
実質0%近傍を維持

○中長期的な財政運営指針となる中期財政計画の必要性

- ・人口減少下においてこそ、中長期的な視点から財政の健全化を意識して財政運営を行うことが重要
- ・30年先の将来を念頭に今後10年の市が実行する総合的な施策を定めた浜松市総合計画基本計画と同じ10年を対象期間に中期財政計画を策定し、一人あたり市債残高の縮減を主たる目標とする

平成27年度 当初予算 ~予算推移~



平成27年度当初予算

●政令市移行後最大の予算規模

●伸び率も移行後最高

防災・減災対策をはじめ市民の安全安心の確保に向けた事業など、本市における優先課題への対応を的確に反映した、真に必要な施策に対して重点化

(単位: 億円、%)

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 B	27年度 A	増減 A-B
当初予算額	2,622	2,668	2,546	2,660	2,750	2,692	2,704	2,741	2,949	208
増 減	229	46	△ 122	114	90	△ 58	12	37	208	171
伸び率	9.57	1.75	△ 4.57	4.48	3.38	△ 2.11	0.45	1.39	7.59	—
決 算 額	2,618	2,739	2,754	2,778	2,864	2,706	2,805	2,759	—	—

平成27年度 当初予算 〈一般会計〉

平成27年度当初予算規模: 2,949億円 (208億円、7.6%の増)

①市税収入は回復

1, 280億円 (6億円、0. 5%の増)

法人市民税は企業業績の改善等により5.1億円の増
固定資産税は企業の設備投資の回復等により3.1億円の増

②義務的経費・投資的経費前年増

義務的経費1, 452億円 (8億円、0. 5%の増)

人件費 452億円 (+ 3億円 0. 7%)

扶助費 616億円 (+19億円 +3. 1%)

公債費 384億円 (△14億円 △3. 5%)

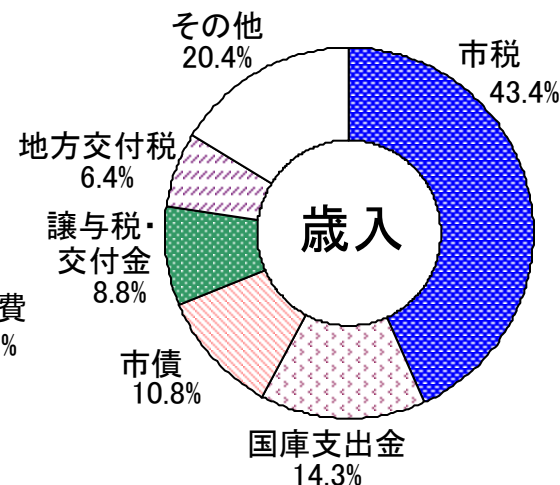
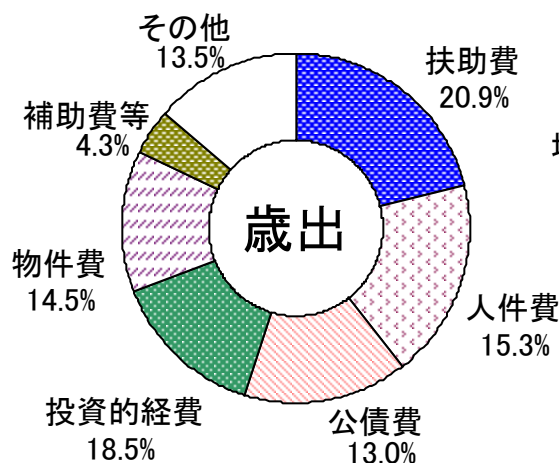
投資的経費545億円 (+137億円 +33. 6%)

③通常債は合併特例債等の活用により増

319億円 (20億円、6. 7%の増)

通常債 196億円 (+36億円 + 22. 7%)

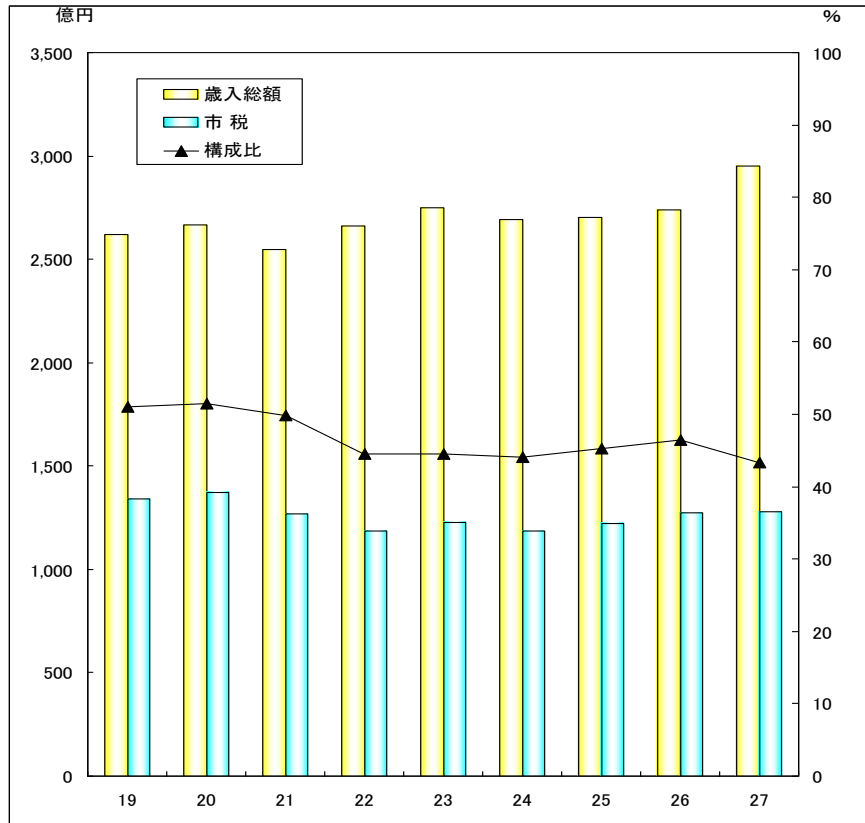
臨時財政対策債 123億円 (△16億円 △ 11. 6%)



プライマリーバランス: 一般会計・総会計ともに黒字を堅持

区分	元金償還	借入	プライマリーバランス
一般会計	349億円	319億円	30億円の黒字
総会計	498億円	405億円	93億円の黒字

歳入総額に占める市税収入の推移



●市税収入の回復1,280億円 (6億円、0.5%の増)

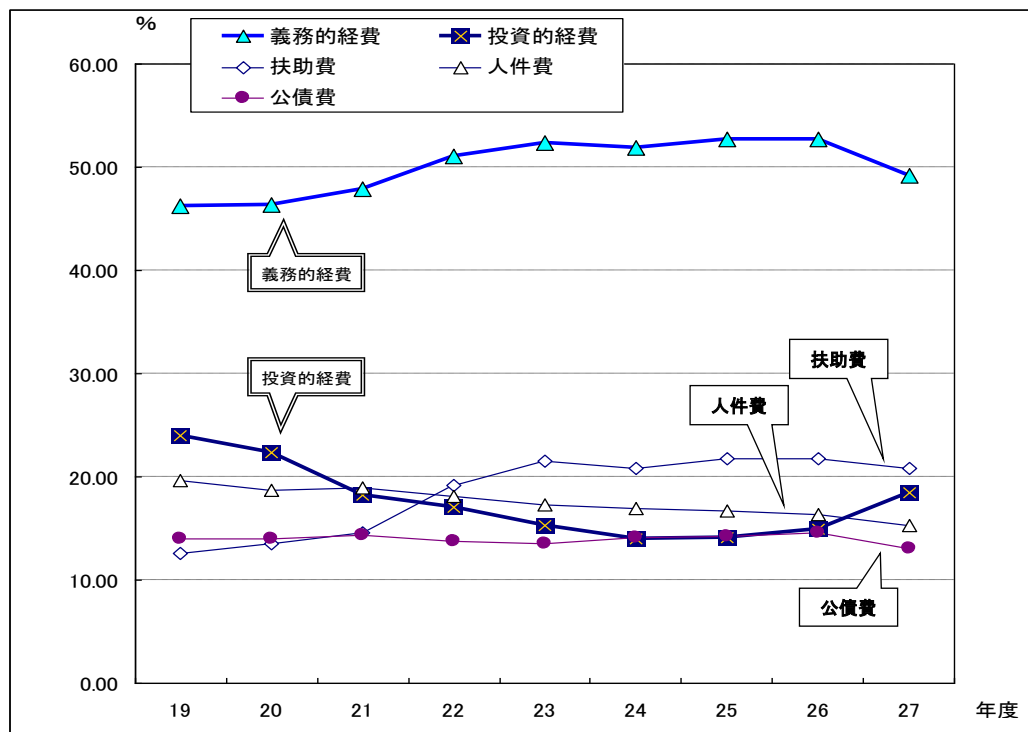
- ・平成27年度の市税は1,280億円
- ・企業収益の改善などによる法人市民税の増などにより、平成26年度の1,274億円に比べ6億円の増
- ・平成27年度歳入総額に対する市税収入の割合は 43.40%と、平成26年度の46.48%から3.08ポイント減少

(単位: 億円、%)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 B	27年度 A	増減 A-B
歳入総額	2,622	2,668	2,546	2,660	2,750	2,692	2,704	2,741	2,949	208
市 税	1,340	1,372	1,270	1,185	1,225	1,186	1,224	1,274	1,280	6
構成比	51.11	51.42	49.88	44.55	44.55	44.06	45.28	46.48	43.40	△ 3.08 ポイント

・当初予算額

義務的経費と投資的経費の構成比の推移



財政構造の弾力性の確保 (義務的経費は49.23%、3.45ポイントの減)

- ・義務的経費は、その支出が義務づけられた経費で、人件費・扶助費・公債費のことをいう。
- ・歳出の構成において、この義務的経費を含む経常的経費の割合が低いほど、財政構造の弾力性が確保されることとなる。
- ・義務的経費の割合は49.23%と平成26年度の52.68%から3.45ポイント減少。

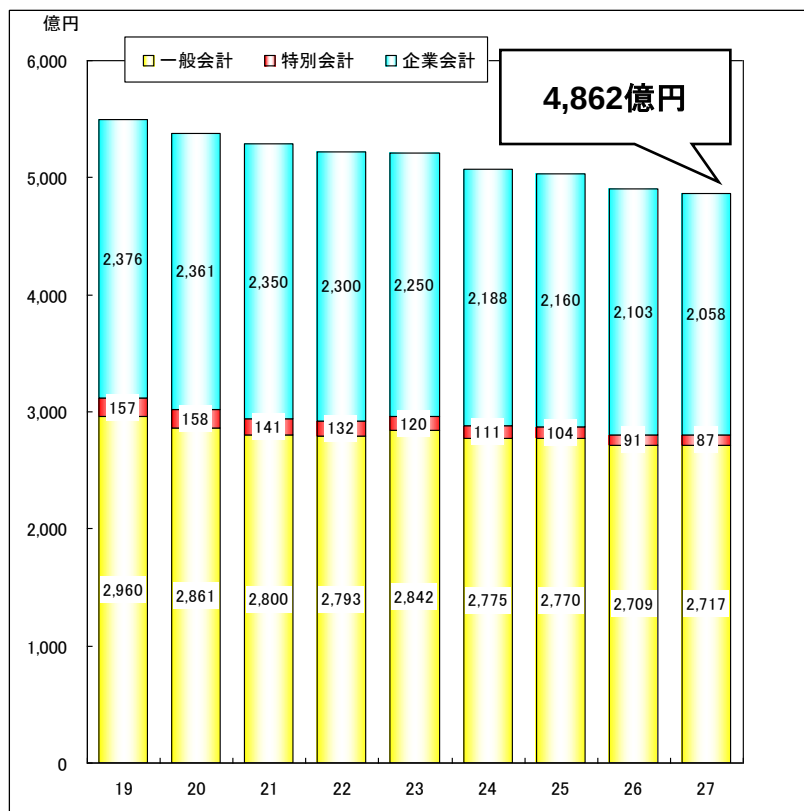
○構成比

(単位: %)

項目		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 B	27年度 A	増減 A-B
義務的経費	人件費	19.64	18.73	18.97	18.11	17.30	16.89	16.72	16.37	15.32	△ 1.05 ポイント
	扶助費	12.63	13.57	14.64	19.23	21.55	20.88	21.76	21.78	20.88	△ 0.90 ポイント
	公債費	13.96	14.04	14.32	13.77	13.52	14.07	14.28	14.53	13.03	△ 1.50 ポイント
	小計	46.23	46.34	47.93	51.11	52.37	51.84	52.76	52.68	49.23	△ 3.45 ポイント
投資的経費		23.99	22.33	18.24	17.11	15.29	14.05	14.08	14.89	18.48	3.59 ポイント

・当初予算ベース

減少する市債残高



平成27年度末市債残高 **4,862億円**
 市民一人あたり **602千円**

○中期財政計画の目標、「平成36年度末までに
 1人あたり550千円／人未満」を目指し
 着実な市債残高の減少を目指す

(単位: 億円)

区 分	19年度末	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末 B	27年度末 A
一般会計	2,960	2,861	2,800	2,793	2,842	2,775	2,770	2,709	2,717
特別会計	157	158	141	132	120	111	104	91	87
企業会計	2,376	2,361	2,350	2,300	2,250	2,188	2,160	2,103	2,058
合 計	5,493	5,380	5,291	5,225	5,212	5,074	5,034	4,904	4,862

・平成19～26年度末は決算額、平成27年度末は当初予算

平成27年度の主要事業

～理想の未来に向けた挑戦～

1 脱人口減少・少子化社会への挑戦

- ・認定子ども園への移行促進 / 保育所の新設・増改築
- ・就職困難者への伴走型支援の強化

2 選ばれる浜松への挑戦

- ・新産業の創出・創業支援・企業誘致等を強化し、魅力ある雇用の場を創出
- ・在宅医療・介護連携拠点の整備 / 危険な空き家の適正管理



©浜松市

出世大名 家康くん

3 持続可能な社会への挑戦

- ・エネルギーの地産地消を目的とした仕組みづくり
- ・公共インフラの一元管理による将来の財政負担の軽減

脱人口減少・少子化社会への挑戦

若者をはじめとした子育て世代の生活基盤を安定させ、子どもを産み育てやすい環境づくりへ

(1)次世代を担う子どもの育成

- | | |
|--------------------|-------------|
| ①定員増による教育・保育環境等の拡充 | 1,552,240千円 |
| ②保育所等待機児童の解消 | 195,875千円 |
| ③放課後児童会事業の拡充 | 10,345千円 |
| ④子育て支援ひろばの拡充 | 216,548千円 |
| ⑤社会的擁護の推進 | 17,909千円 |

(3)すべての女性が輝くまちづくり

- | | |
|-----------|---------|
| ①女性活躍支援事業 | 4,036千円 |
| ②女性就労支援事業 | 2,780千円 |

(2)若者などの自立を応援するまちづくり

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ①生活困窮者自立支援事業 | 64,482千円 |
| ②求職者就労支援事業（パーソナル・サポート・センター事業） | 55,000千円 |
| ③地域若者サポートステーションはままつ事業 | 4,638千円 |

(4)交流・移住による中山間地域の振興

- | | |
|--------------------------|----------|
| ①子ども中山間地域交流事業 | 3,456千円 |
| ②中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業 | 5,000千円 |
| ③浜松山里いきいき応援隊 | 30,703千円 |

選ばれる浜松への挑戦

働く場、学びの場、遊びの場、憩いの場などライフ
ステージのあらゆる場面において選ばれる浜松へ

(1)世界の一步先を行く産業・ サービスの創造

- ①新・産業集積エリア整備事業
7,917,126千円
- ②農業振興エリア整備事業
14,650千円
- ③海外ビジネス展開支援事業
30,983千円

(2)「人づくりネットワーク」で 進める学びの場づくり

- ①学校特色化推進事業
64,799千円
- ②ノーベル物理学賞受賞
記念展示物の設置
15,000千円

(3)創造都市・浜松の推進

- ①世界創造と市フォーラムin浜松
20,000千円
- ②浜松国際ピアノコンクール(第9回)
137,826千円
- ③みんなの浜松創造プロジェクト
50,826千円

(4)スポーツ支援施策の推進

- ①遠州灘海浜公園におけるスポーツ
施設の整備
3,000千円
- ②大型スポーツイベントにかかる
事前合宿の誘致等
2,970千円

(5)魅力あるイベントなどによる交流人口拡大

- ①徳川家康公四百周年記念事業
55,270千円
- ②出世の街浜松 家康公祭り
13,800千円
- ③ゆるきゃら®グランプリ2015
in出世の街 浜松 57,000千円

浜松市ゆかり
井伊直虎を主人公と
したNHK大河ドラマ化
決定！！

※国交付金による平成26年2月補正先行実施分を含む

持続可能な社会への挑戦

長期的な展望に立ち、安全・安心・改定に暮らせる、環境と共生した持続可能な都市へ

(1)災害に強く、低炭素な 地域づくり

- ①浜松版スマートシティの実現
13,561千円
- ②創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅
の推進
114,500千円
- ③省エネルギー対策の推進
175,973千円

(2)防災・減災力の強化

- ①津波対策事業 911,469千円
防潮堤整備に係る土砂確保、
津波避難マウンドの整備など
- ②危機管理体制の強化 17,434千円
東南部地域出張所建設事業
- ③公共建築物非構造部材落下防止対策 626,336千円
- ④浸水対策 980,000千円
河川改修、排水路改修などハード対策と浸水対策設備調査による
ソフト対策の組み合わせにより浸水被害を防止・軽減

(3)持続可能な都市経営の推進

- ①将来に向けたまちづくり戦略の検討
立地適正化計画調査検討事業 9,720千円
- ②資産の適正管理・長寿命化対策
公共建築物の長寿命化 1,019,132千円
橋りょう(3橋)の長寿命化 360,000千円
遊休資産の解体・売却、借地の解消 1,591,154千円
- ③公共施設等の再編
衛生工場の長寿命化 225,380千円
市営住宅の集約建替 12,192千円

※国交付金による平成26年2月補正先行実施分を含む

4 市債発行方針

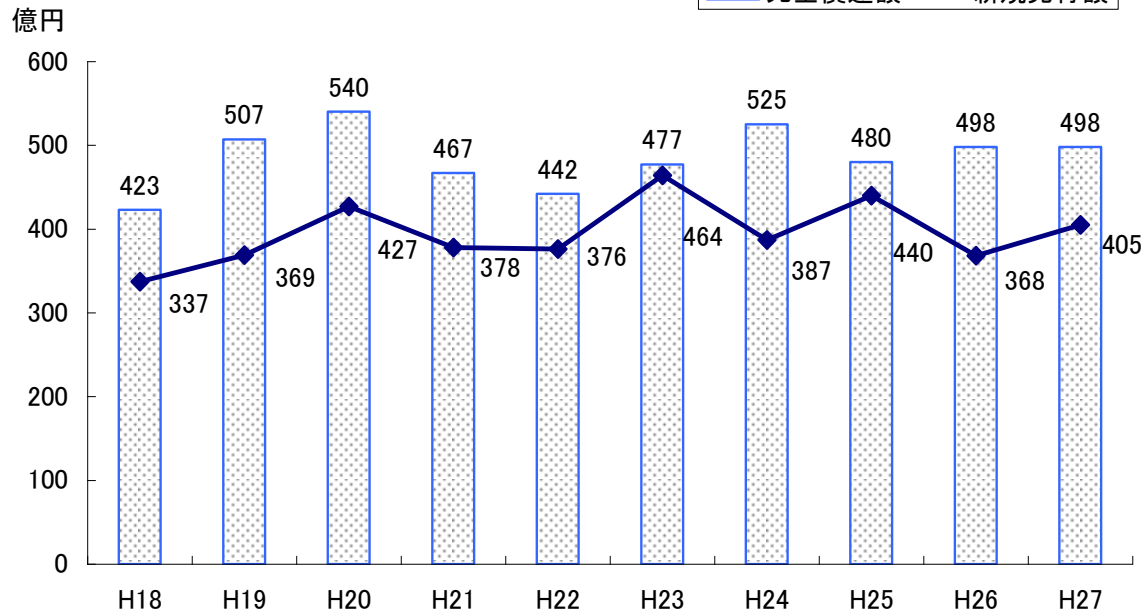
- ① 市債管理方針
- ② 浜松市の格付け
- ③ 市場公募債発行概要



市債管理方針

総会計のプライマリーバランス

元金償還額 ◆ 新規発行額



※H26年度までは実績値、H27年度は当初予算ベース

※PBはプライマリーバランス

- 臨時財政対策債を含めたすべての市債の合計で、
元金ベースのプライマリーバランス黒字を絶対条件に据える
- 将来の負担軽減、リスクの徹底排除により、
中長期にわたる健全財政を維持

★具体的には…

<発行ルール>

- 中期財政計画に基づく市債の発行抑制
- 元金償還額未満の発行による市債残高の削減

<償還ルール>

- 繰上償還による償還前倒し
- 新発債について償還ペースの維持・短縮

<積立ルール>

- 毎年発行額の1/20を減債基金に積立(据置なし)
(実質公債費比率より前倒しの積立)

浜松市の格付け

ムーディーズ・ジャパン株式会社

A1

(エーワン)

[アウトルック: 安定的]

BCA: a2

ムーディーズ格付け 他団体比較

●BCA(ベースライン信用力評価)スコアカード

BCAスコアカードは、量的および定性的な指標によりBCAの評価を推定するものであり、格付委員会において地方自治体の信用力を評価する際に参考にされる。

信頼格付取得地方自治体一覧(2013年度スコア)

都市名 ※クレジット・オピニオン・イシュー・スタティスティックス公表日	浜松市 H27.1.7	福岡市 H27.2.12	静岡県 H27.3.25	堺市 H26.12.18	札幌市 H27.9.11	静岡市 H26.12.19	名古屋市 H26.12.19	大阪市 H27.7.30	京都市 H27.9.2
地域経済のファンダメンタルズ	0.76	0.20	0.48	0.48	1.04	0.48	0.20	0.20	0.48
制度の枠組み	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
財政実績と債務状況	0.83	1.35	1.05	1.20	1.13	0.83	1.35	1.20	1.43
行財政運営の状況	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	1.5	1.5	1.5	1.5
推定個別リスクスコア (浜松市との差)	2.49 (-)	2.45 0.03	2.43 0.06	2.58 (0.10)	3.07 (0.59)	3.41 (0.93)	3.65 (1.17)	3.50 (1.02)	4.01 (1.53)
推定BCAスコア	a2	a2	a2	a3	a3	a3	baa1	baa1	baa1
格付け委員会BCA	a2	a2	a2	a2	a2	a2	a3	a3	a3
発行体格付け	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1

※各レポートの更新時期により、推計GDPなどの数値が若干異なっている場合がある

※表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないことから、合計と一致しない場合がある

<格付を支える要因>

○義務的経費の伸びが抑制されており、比較的高い財政の柔軟性

○堅実な財政運営と行財政改革等への積極的な取り組み

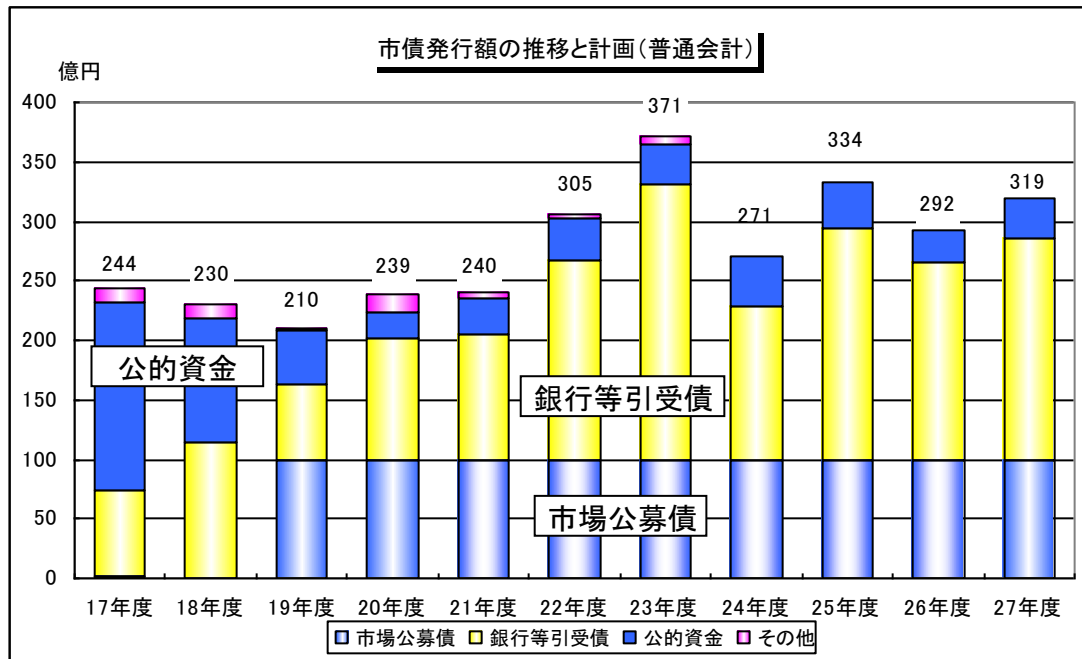
(↑浜松市独自評価の要因)

○中央政府による地方財政への密接な関与、財政調整制度など堅固な制度的枠組み

(↑全自治体共通の要因)

市場公募債発行概要

- ◇発行額：100億円(10年債)
- ◇条件決定日：平成28年1月予定
- ◇発行日：平成28年1月下旬予定



※26年度までは実績、27年度は当初予算ベース

【浜松市債引受シンジケート団】

銀行団	(株)静岡銀行
	(株)みずほ銀行
	(株)三井住友銀行
	(株)新生銀行
	(株)あおぞら銀行
	浜松信用金庫
	遠州信用金庫
証券団	みずほ証券(株)
	野村證券(株)
	大和証券(株)
	SMBC日興証券(株)
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
	岡三証券(株)
	東海東京証券(株)
	ゴールドマン・サックス証券(株)
	バークレイズ証券(株)
	しんきん証券(株)

出世大名家康くん

みんなで悲願
のグランプリ
獲得じゃ！



出世大名 家康くん

©浜松市

ゆるキャラグランプリ参戦！

スマホ・携帯・
パソコンから投票
できるのじゃ

投票期間：8月17日～**11月16日まで**

グランプリ発表イベント・表彰式を
浜松で開催！

日程：平成27年11月21日（土）～23日（月祝）

場所：渚園特設会場（浜松市西区）



←投票はこちらから

ゆるキャラグランプリ

2015



投票期間 2015年

8/17~11/16

家康くん

投票

詳しくは出世大名家康くん公式サイトへ



最終は、浜名湖 渚園で決選投票！

出世大名家康くん市民応援団

「ゆるキャラグランプリ2015」の出世の巻頭として、発表される方々に最高のおもてなしをしましょう。
お問い合わせ 浜松市観光協会 企画・広報 TEL:053-457-2253 FAX:053-457-2254 E-mail: up@city.bhamatsu.aichi.jp



浜松市

HAMAMATSU CITY

お問い合わせ

浜松市 財務部 財政課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2274

FAX 050-3730-0119

e-mail zaisek@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>